

令和6年度 教科用図書北部採択地区協議会  
令和7年度使用中学校用教科用図書の「選定教科用図書」及び「選定理由」

【音楽（一般）】

1 選定教科用図書

- 教育芸術社

2 選定理由

(1) 教育芸術社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を実現させるために、ねらいに応じて教材や学習活動を選択することができるような工夫がされている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材が構成され、一目で分かるように見開きのページで示す工夫が見られる。
- 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、1年、2・3年上の表現・鑑賞領域に「学びのコンパス」のページが設けられ、自分の考えや感じ取った曲想等をまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるように工夫されている。
- 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽をより身近なものとして捉えられるよう各界で活躍する方から中学生へのメッセージが掲載されている。また、キャラクターの会話により学習活動のポイントを示すなど、生徒の気付きを促す工夫が見られる。

(2) 教育芸術社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が自身の学びや経験を生かすとともに、住んでいる地域と関連付けて考えるために、民謡や歌舞伎、能、神楽、盆踊り等、県北地域にも関わりの深い伝統芸能や音楽が全学年で系統立てて紹介されている。特に、「刈干切唄」は全国の民謡地図の中において、「高千穂の夜神楽」は郷土の祭りや芸能地図の中において学年をまたいで紹介されている。
- 演奏者からのアドバイスや、県北地域にゆかりのある能や能面などについて二次元コードにより映像で紹介され、郷土の音楽や伝統芸能の理解を深め、愛着をもたせる工夫がなされている。